



近藤大介議員

具体的な政策の取り組みは

町長 担当課と今後検討する

問 ①新町長として、合併4年間を振り返り、町行政の課題をどう考えるか。町民の期待をどのように受け止めているか。

②選挙公約をどのような手法、政策により具体化していくか。また、大まかなスケジュールは。

答 (森田町長)

①高速インターネットやケーブルテレビが入り、

学校施設の建設・耐震化工事、大山恵みの里公社の設立・事業展開等が進む。一方、行政区が広域化し、めまぐるしい人事異動など役場と住民が縁遠くなり、住民の思い・熱意が行政になかなか届きにくい状況が生じていたと思っている。

共に取り組むまちづくりが必要と考えている。自立可能な自治体運営と、「安心と元気」の大山町」に向け、諸問題を、担当課長、職員と検証し、議会と議論をしながら、町政発展のために取り組みたい。

問 大山の知名度向上に貢献のあった「大地鶏」(鳥取地どりピヨ)が、製造元の経営破たんまで供給されなくなっている。

市場のニーズも高く、また、ピヨの開発に努力してきた県も、ピヨの復興支援に前向きと聞いている。

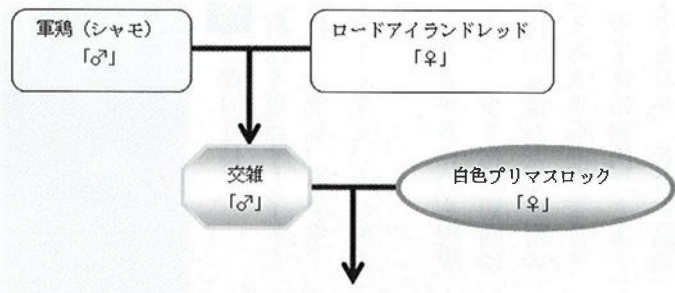
答 (森田町長)

町内の新たな特産品づくりのために、町内の農家にピヨ飼育を呼び掛け、初期投資に補助をしながら、本町で地鶏の飼育振興を図れないか。

飼育コストがかかり、高値での販売先確保が必要

大山の地鶏を特産品に

町長 取り組む農家があるなら検討



鳥取県のホームページより

要になる。本町で生産されれば、良い「大山ブランド」の一つになり、問題点がクリアできていくならば、取り組む価値があると思っている。

導入される農業者等の意向があれば、関係機関と連携して、検討していきたい。



町長と担当課の政策協議